

2001年5月17日

報道関係者各位

上場会社名 丸 文 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 堀 越 毅 一
本社所在地 東京都中央区日本橋大伝馬町 8 - 1
上場取引所 東京証券取引所 市場第一部
(コード番号 7 5 3 7)

環境マネジメントシステム国際規格「ISO14001」認証取得のお知らせ

このたび、当社は、本社（中央区）および南砂事業所・東日本物流センターの2拠点を対象に、下記のとおり、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を、2001年5月16日付けで取得しましたのでお知らせします。

記

1. 適用規格：ISO 14001:1996、JIS Q 14001:1996
2. 認証機構：株式会社 日本環境認証機構（JACO）
3. 認証番号：EC01J0018
4. 認証サイト：本社（東京都中央区）、
南砂事業所・東日本物流センター（東京都江東区）
5. 認証日：2001年5月16日
6. 登録範囲（認定範囲）：
登録組織全域における電子部品および電子機器の販売
7. 認証を取得した背景

国際的な地球環境問題への関心が高まるにつれ、当社の主要顧客である国内大手電子機器メーカーにおいては、省資源・省エネルギー・リサイクルなどを追求した環境配慮型製品が求められるようになりました。当社は、機器や部品を供給する立場から研究開発機器や部材の納入に際して協力を要請されるようになってきました。

そこで、当社は、環境に配慮した経営体制を築くことで、こうした顧客のニーズに応え、仕入先や顧客と一致協力して環境問題に取り組むとともに、自らも積極的に環境保全の維持・向上に努めるため、ISO14001の認証を取得するに至ったものです。

「環境統括責任者」堀越社長の指示のもと、昨年5月にEMS推進委員会を、6月には環境管理室をそれぞれ設置してEMS構築と認証取得準備をスタートしました。本年4月に（株）日本環境認証機構（JACO）の本審査を受け、5月16日付けで認証を取得したものです。

8. 今後の方針：

今回、認証を受けた環境保全活動の範囲を、2支社、6支店、2営業所、西日本物流センターなどの国内全拠点に展開し、すべての拠点に認証取得場所を拡大する一方で、環境配慮型商品を積極的に開拓・拡販し、事業の拡大を図る計画です。

9. 認証取得に至るまでの経緯

- 1999年10月 社内横断的組織「ISO14001認証取得準備委員会」を発足。各種セミナーへの参加や社内勉強会等を開始
- 1999年12月 森脇寛常務取締役を委員長とする「ISO14001認証取得委員会」を正式に設置。EMS構築スケジュールの策定、コンサルタントの選定等を開始
- 2000年5月 「ISO14001認証取得委員会」を「EMS推進委員会」に改称・改組し、本社地区および南砂事業所から部門代表委員15名を任命
- 2000年6月 EMS構築を推進する目的で「環境管理室」を設置、箕輪晴助取締役を環境管理室長兼「環境管理責任者」に任命
- 2000年7月 環境側面抽出および環境影響評価を実施
- 2000年9月 当社の環境、理念環境方針を制定。「環境マネジメントマニュアル」や「環境関連諸規定」を制定
- 2000年10月 EMS活動の実施・運用の開始
- 2000年12月 「内部環境監査委員会」設置
- 2001年1月 第1回定期内部環境監査実施
- 2001年2月 JACOによる初動審査実施
- 2001年4月 JACOによる本審査実施
- 2001年5月 ISO14001認証取得

10. EMS活動組織

拠点名	EMS活動単位名	所属部署名
本社 (東京都中央区)	コーポレート1グループ	監査室 法制対策室 経営企画部 広報室 経理部 業務部
	コーポレート2グループ	総務部 事務部 不動産事業推進室
	情報通信本部グループ	情報システム推進部 システム開発部
	システムカンパニーグループ	システムカンパニー
	デバイスカンパニーグループ	デバイスカンパニー 環境管理室
南砂事業所、 東日本物流センター (東京都江東区)	南砂グループ	物流管理部 システム技術部 南砂管理チーム

以上

【お問い合わせ先】

広報室長：大竹 祐吉（おおたけ）
 電話番号：03-3639-9803
 F A X：03-5644-7693
 URL： <http://www.marubun.co.jp>